



2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月17日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役代表執行役CFO (氏名) トーマス・イーストリング (TEL) 03-6214-3600

四半期報告書提出予定日 2021年5月17日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,872	82.2	773	85.7	676	73.0	435	68.7	432	226.8	1,212	978.5
2020年12月期第1四半期	2,125	34.9	416	65.9	390	46.6	258	8.0	132	11.0	112	△56.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	9.50	9.12
2020年12月期第1四半期	3.05	2.96

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	27,117	17,267	15,975	58.9	348.14
2020年12月期	23,219	12,769	11,000	47.4	252.80

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	-	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,803	20.8	1,220	△34.7	1,180	△34.6	470	△65.5	778	△38.2	17.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルス感染の収束時期、影響を見通すことが困難であるため、上記業績予想はその影響を反映しておりません。上記業績予想の修正を必要とした場合は適時開示して参ります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	45,887,943株	2020年12月期	43,513,149株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	1,223株	2020年12月期	1,223株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	45,543,694株	2020年12月期1Q	43,395,522株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1-(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、当社は、2021年5月19日に、機関投資家・アナリスト向けの四半期説明会を開催する予定です。その説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 研究開発活動	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(作成の基礎)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	14
3. その他	15
(役員の異動)	15

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響からいち早く回復した中国経済の拡大などによる世界経済の回復の兆しが出始めている一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大などの懸念事項が依然として不安材料の一つとなっております。

こうした中、当社グループは、中国におけるアイスーリュイの売上の継続的な成長傾向及び米国での医療機器の販売にけん引され、前年同期比で増収、増益を達成いたしました。

売上収益は3,872,356千円となり、前年同期比82.2%増加しました。また、売上総利益も3,416,638千円となり前年同期比95.4%増加しました。

営業利益は773,577千円となり、前年同期比85.7%増加しました。これは主に、医薬品事業セグメントの継続的成長と医療機器事業セグメントの堅調な推移によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の四半期利益は、435,715千円となり、全年同期比68.7%増加いたしました。

当社グループは、事業のさらなる成長とグループ全体のシナジー効果を促進するため、当第1四半期連結累計期間においてBerkeley Advanced Biomaterials LLCの残存30%の株式を取得し、当社グループの完全子会社といたしました。また、革新的なタンパク質分解技術(Protac)分野の重要な創薬子会社であるCullgen Inc. (以下、Cullgenという。)への継続的な投資活動の一環として、がんなどの疾患に対する医薬品開発活動を拡大するための同社が実施した5,000万米ドルの資金調達に参加しました。中国においては北京コンチネント薬業有限公司(以下、BCという。)が、2021年後半に中国深圳証券取引所へ上場申請をすることを目指しております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

主力製品であるアイスーリュイの中国市場での売上収益は引き続き好調に推移し、医薬品事業セグメントの売上収益は3,409,490千円(前年同期比101.3%増)、セグメント利益は600,324千円(前年同期比110.2%増)となりました。

医療機器事業

米国における医療機器事業セグメントの事業環境は改善しつつあり、売上収益は462,865千円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益は173,253千円(32.9%増)となりました。

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△1,122,503	△2,194,415	△1,071,912
人件費	△458,554	△807,379	△348,824
研究開発費	△208,909	△403,692	△194,783

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前第1四半期連結累計期間に比べ1,071,912千円増加し、2,194,415千円となりました。販売費及び一般管理費の増加は、医薬品事業セグメントの販売及びマーケティング費用、一過性の取引手数料などが発生したためです。

また、研究開発費の増加は主に、Cullgenの開発プログラムによるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
金融収益	10,898	28,224	17,326
金融費用	△36,520	△125,738	△89,217

金融収益

当第1四半期連結累計期間の金融収益は、前第1四半期連結累計期間の10,898千円と比べて、17,326千円増加し、28,224千円となりました。

金融費用

当第1四半期連結累計期間の金融費用は、前第1四半期連結累計期間の36,520千円と比べて、89,217千円増加し、125,738千円となりました。この増加は主に当社子会社であるCullgenの財務活動における支払利息の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位:千円)

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	差額
資産合計	23,219,257	27,117,456	3,898,198
負債合計	10,450,153	9,849,897	△600,255
資本合計	12,769,104	17,267,558	4,498,453

資産合計

当第1四半期連結会計期間における資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,898,198千円増加し、27,117,456千円となりました。

負債合計

当第1四半期連結会計期間における負債合計は、前連結会計年度末に比べて600,255千円減少し、9,849,897千円となりました。

資本合計

当第1四半期連結会計期間における資本合計は、前連結会計年度末に比べて4,498,453千円増加し、17,267,558千円となりました。

連結キャッシュ・フロー

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	551,137	1,507,840	956,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,057	△71,785	2,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	347,982	1,093,492	745,509

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の551,137千円の収入と比べて956,702千円増加し、1,507,840千円の収入となりました。主な増加要因は、税引前四半期利益の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の74,057千円の支出と比べて2,272千円減少し、71,785千円の支出となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の347,982千円の収入と比べて745,509千円増加し、1,093,492千円の収入となりました。主な収入は、非支配持分からの払込による収入であります。

(3) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬活動はCullgenを中心に、新しい創薬基盤技術であるuSMITETM（ユビキチン化を介した標的タンパク質分解誘導技術）を活用した、革新的な新規化学物質（NCE）の開発を目指しています。

Cullgenは、がん、痛み、及び自己免疫疾患の適応症に対する酵素及び非酵素タンパク質の両方を標的とした複数の新規分解剤を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発をすすめております。

Cullgenの新しいE3リガンドプログラムの開発は、タンパク質分解誘導の将来を担う技術で、毒性の低減、薬剤耐性の緩和、組織・腫瘍・細胞内コンパートメントの選択性の提供、基質スペクトルの拡大を実現させるNCEの開発の可能性があると考えられております。

なお、Cullgenは、2021年後半にリード候補薬を治験薬（IND）申請することを目指しています。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞[®]、英語：Etuary[®]（一般名：ピルフェニドン）〕

放射線性肺炎（RP）

当社グループは、アイスーリュイの2番目の適応症として、RP治療薬の第3相臨床試験前パイロット試験を実施しております。これは、反復投与、多施設でのオープン試験を行うものです。2021年3月末時点で94名の被験者が登録されております。

糖尿病腎症（DN）

アイスーリュイの3番目の適応症であるDNは、I型糖尿病またはII型糖尿病により引き起こされる慢性腎臓病です。中国では9,240万人が糖尿病に脅かされており、このうち20～30%がI型糖尿病またはII型糖尿病を患い、腎疾患を引き起こすと言われております。本第1相臨床試験につきましては、2021年3月末時点で予備研究として18名の被験者が登録されております。

結合組織疾患を伴う間質性肺疾患（CTD-ILD）

2016年9月、結合組織疾患の患者の肺の炎症や線維症を引き起こすCTD-ILDの治療に対するアイスーリュイの4番目の適応症の国家薬品监督管理局（NMPA）承認を受けました。このINDの承認により、全身性硬化症（強皮症）と皮膚筋炎（DM）の2つの適応症について、直接第3相臨床試験に移行することが承認されました。

2018年6月には、強皮症及びDMの治療を対象とした第3相臨床試験の各段階において、無作為、二重盲検、プラセボ・コントロール、52週間の試験に第1期被験者を登録しました。強皮症には144名、DMには152名の被験者が登録される予定で、2021年3月末時点で、それぞれ12名、37名の被験者が登録されております。

じん肺治療薬（Pneumoconiosis Disease）

2019年5月、当社グループは、アイスーリュイの5番目の適応症として、じん肺治療薬の治験許可（IND）申請に対する承認をNMPAより取得しました。じん肺疾患は、肺に炎症や癒痕化（線維化）を引き起こす慢性的な肺疾患で、吸い込まれた粉塵や微粒子が、肺の細胞に蓄積することによって引き起こされます。中国には、およそ43万3千人の患者様があり、更に、適切な診断を受けていない患者様が、最大60万人いると推定されており、中国のみならず、世界中でアンメット・メディカル・ニーズ（有効な治療方法がない疾患に対する医療ニーズ）が存在します。BCは、病院との提携を進め、治験実施計画書を決定し、第3相臨床試験を開始して参ります。

■F351（肝線維症等治療薬）

F351（一般名：ヒドロノン）は、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な創薬候補化合物であり、他の世界の主要医薬品市場へ臨床開発活動を拡大する戦略の重要な部分を占めています。

F351は、アイスーリュイの誘導体である新規開発化合物であり、肝星細胞の増殖及び内臓の線維化に重要な役割を果たすTGF-β伝達経路の両方の阻害剤です。当社グループは中国、日本、豪州、カナダ、米国及び欧州各国を含む主要な国でのF351の特許権を保有しております。

2020年8月、当社は肝線維症の候補薬であるF351の中国における第2相臨床試験の初期分析の良好な結果について発表しました。この試験は、中国における慢性ウイルス性B型肝炎患者の肝線維症に対するF351の安全性と有効性を評価する、無作為化、二重盲検、プラセボ・コントロール、多施設、用量递增試験で、2020年10月に開示いたしましたように、プラセボと比較して52週の治療で肝線維症スコアが統計的に有意に改善するという主要評価項目を満たしました。

なお、中国の医薬品評価センター(CDE)との最初の協議を経て、2021年3月にF351はNMPAより肝線維症の画期的治療薬に指定されました。これにより、今後F351についてのCDEとの協議が優先的、かつ有利な臨床試験を進めることが可能になると考えられます。

米国における第2相臨床試験については、2021年後半の米国食品医薬品局(FDA)申請を目指し、KOL及びアドバイザーとの協議を通じた適応症の可能性について検討を重ねております。

■F573(急性肝不全・慢性肝不全急性時(ACLF)治療薬)

F573はアイヌーリュイ及びF351に次ぐ3番目の創薬候補化合物として、カスパーゼを阻害する可能性を持つ強いジペプチド化合物であり、B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)、アルコール性肝硬変による重症肝炎に関連して発生する細胞死や炎症反応に重要な化合物です。当社グループは治験実施計画書を作成し、第1相臨床試験実施の準備をしておりましたが、2020年9月に仁安病院より第1相臨床試験実施の承認を受け、第1相臨床試験において使用する人類遺伝子情報の届け出をHGRA(Human Genetics Resources Administration)に提出、受理されております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年3月9日に「(数値データ訂正)「2020年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部訂正について」で公表いたしました予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	2,425,021	2,579,812
使用権資産	731,925	746,771
のれん	4,514,248	4,827,447
その他の無形資産	1,718,054	1,856,693
繰延税金資産	78,353	123,197
その他の金融資産	726,968	770,298
非流動資産合計	10,194,571	10,904,220
流動資産		
棚卸資産	934,834	983,454
営業債権及びその他の債権	1,368,735	1,469,491
その他の金融資産	13,572	10,235
その他の流動資産	384,880	389,108
現金及び現金同等物	10,322,664	13,360,946
流動資産合計	13,024,686	16,213,236
資産合計	23,219,257	27,117,456
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	1,260	477
リース負債	226,008	149,062
繰延税金負債	219,510	257,969
その他の金融負債	3,247,394	6,184,223
その他の非流動負債	152,501	183,657
非流動負債合計	3,846,674	6,775,391
流動負債		
営業債務及びその他の債務	412,143	249,684
借入金	1,434,151	980,419
リース負債	85,527	157,671
未払法人所得税	188,034	276,946
その他の金融負債	3,905,089	7,158
その他の流動負債	578,531	1,402,627
流動負債合計	6,603,478	3,074,506
負債合計	10,450,153	9,849,897
資本		
資本金	8,268,472	10,218,178
資本剰余金	3,591,101	5,561,226
自己株式	△472	△472
利益剰余金	△608,019	△327,362
その他の資本の構成要素	△251,049	523,707
親会社の所有者に帰属する部分合計	11,000,032	15,975,277
非支配持分	1,769,072	1,292,281
資本合計	12,769,104	17,267,558
資本及び負債の合計	23,219,257	27,117,456

(2) 要約四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	2,125,906	3,872,356
売上原価	△377,012	△455,717
売上総利益	1,748,893	3,416,638
販売費及び一般管理費	△1,122,503	△2,194,415
研究開発費	△208,909	△403,692
その他の収益	6,430	4,385
その他の費用	△7,442	△49,338
営業利益	416,469	773,577
金融収益	10,898	28,224
金融費用	△36,520	△125,738
税引前四半期利益	390,846	676,064
法人所得税費用	△132,506	△240,349
四半期利益	258,340	435,715
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	132,351	432,545
非支配持分	125,989	3,169
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	3.05	9.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	2.96	9.12

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益	258,340	435,715
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△145,882	777,130
その他の包括利益合計	△145,882	777,130
四半期包括利益合計	112,457	1,212,845
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	39,042	1,132,981
非支配持分	73,414	79,864

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2020年1月1日残高	8,212,985	4,273,412	△472	△1,764,904	96,199	△125,094	△28,894
四半期利益	-	-	-	132,351	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	△93,308	△93,308
四半期包括利益合計	-	-	-	132,351	-	△93,308	△93,308
分配金の支払	-	-	-	-	-	-	-
新株の発行	3,720	3,720	-	-	△3,480	-	△3,480
株式報酬取引	-	-	-	-	15,878	-	15,878
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	-	△62,932	-	-	-	△9,188	△9,188
所有者との取引額合計	3,720	△59,212	-	-	12,398	△9,188	3,209
2020年3月31日残高	8,216,705	4,214,200	△472	△1,632,552	108,598	△227,591	△118,993

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2020年1月1日残高	10,692,126	2,403,706	13,095,833
四半期利益	132,351	125,989	258,340
その他の包括利益	△93,308	△52,574	△145,882
四半期包括利益合計	39,042	73,414	112,457
分配金の支払	-	△94,653	△94,653
新株の発行	3,960	-	3,960
株式報酬取引	15,878	-	15,878
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	△72,120	55,393	△16,727
所有者との取引額合計	△52,282	△39,259	△91,542
2020年3月31日残高	10,678,887	2,437,861	13,116,748

当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2021年1月1日残高	8,268,472	3,591,101	△472	△608,019	163,354	△414,404	△251,049
四半期利益	-	-	-	432,545	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	700,436	700,436
四半期包括利益合計	-	-	-	432,545	-	700,436	700,436
支配継続子会社に対する持分の変動	-	△3,051,531	-	-	-	△57,116	△57,116
連結範囲の変動	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	△150,838	-	-	-
新株の発行	1,949,705	1,949,705	-	-	-	-	-
新株予約権の発行	-	-	-	-	51,537	-	51,537
株式報酬取引	-	-	-	-	25,830	-	25,830
株式発行費用	-	△13,647	-	-	-	-	-
新株予約権発行費用	-	-	-	-	△3,046	-	△3,046
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	-	3,085,598	-	-	-	57,116	57,116
その他	-	-	-	△1,050	-	-	-
所有者との取引額合計	1,949,705	1,970,125	-	△151,888	74,320	-	74,320
2021年3月31日残高	10,218,178	5,561,226	△472	△327,362	237,675	286,031	523,707

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2021年1月1日残高	11,000,032	1,769,072	12,769,104
四半期利益	432,545	3,169	435,715
その他の包括利益	700,436	76,694	777,130
四半期包括利益合計	1,132,981	79,864	1,212,845
支配継続子会社に対する持分の変動	△3,108,647	△789,025	△3,897,672
連結範囲の変動	-	△523,254	△523,254
剰余金の配当	△150,838	-	△150,838
新株の発行	3,899,411	-	3,899,411
新株予約権の発行	51,537	-	51,537
株式報酬取引	25,830	-	25,830
株式発行費用	△13,647	-	△13,647
新株予約権発行費用	△3,046	-	△3,046
非支配持分への売建ブック・オプション負債の変動	3,142,714	755,624	3,898,338
その他	△1,050	-	△1,050
所有者との取引額合計	3,842,263	△556,655	3,285,608
2021年3月31日残高	15,975,277	1,292,281	17,267,558

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	390,846	676,064
減価償却費	71,854	86,535
営業債権及びその他の債権の増減額	191,275	△16,053
営業債務及びその他の債務の増減額	△23,289	△185,167
棚卸資産の増減額	40,076	10,380
賞与引当金増減額	—	△8,411
金融収益及び金融費用	2,721	10,049
その他	△82,988	1,127,363
小計	590,497	1,700,758
利息の受取額	34,643	10,451
利息の支払額	△14,687	△19,527
法人所得税の支払額	△59,316	△183,842
営業活動による正味キャッシュ・フロー	551,137	1,507,840
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	9,108	—
有形固定資産の取得による支出	△77,971	△51,712
無形資産の取得による支出	△6,890	△22,637
差入保証金・敷金の増加による支出	—	△898
貸付金の回収による収入	1,696	3,462
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△74,057	△71,785
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	483,390	△453,928
長期借入金の返済による支出	△25,000	△25,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	3,960	—
新株予約権の発行による収入	—	86,425
非支配持分への分配金の支払による支出	△94,653	—
非支配持分からの払込による収入	—	2,225,431
リース負債の返済による支出	△19,714	△22,374
非支配株主への払戻による支出	—	△556,268
配当金の支払額	—	△150,838
その他	—	△9,954
財務活動による正味キャッシュ・フロー	347,982	1,093,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,540	508,735
現金及び現金同等物の増減額	757,522	3,038,281
現金及び現金同等物の期首残高	7,674,361	10,322,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,431,883	13,360,946

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2020年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、その事業内容を医薬品事業と医療機器事業の二つに区分しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究などを行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、GNI Tianjin Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC	生体材料

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	1,693,935	431,971	2,125,906	—	2,125,906
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,693,935	431,971	2,125,906	—	2,125,906
セグメント利益	285,555	130,402	415,957	511	416,469
				金融収益	10,898
				金融費用	△36,520
				税引前四半期利益	390,846

(注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	3,409,490	462,865	3,872,356	—	3,872,356
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,409,490	462,865	3,872,356	—	3,872,356
セグメント利益	600,324	173,253	773,577	—	773,577
				金融収益	28,224
				金融費用	△125,738
				税引前四半期利益	676,064

(注) 1 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

(重要な後発事象)

新株予約権の行使

当第1四半期連結会計期間終了後、2021年5月17日までの間に第44回新株予約権の権利行使がありましたが、その概要は以下の通りであります。

- (1) 新株予約権の名称 第44回新株予約権
- (2) 発行株式の種類及び株式数 普通株式 1,575,000株
- (3) 増加した資本金 666,154,125円
- (4) 増加した資本剰余金 666,154,125円

3. その他

(役員の異動)

役員の異動につきましては、2021年4月15日に開示しました「執行役員制度の導入に関するお知らせ」をご覧ください。